



## CTI ルート ポイントの設定

Computer Telephony Integration (CTI) ルート ポイントでは、仮想デバイスを指定します。この仮想デバイスは、アプリケーションが宛先変更を制御している多重同時コールを受信することができます。

ファースト パーティ コールを制御するために、アクティブな音声回線ごとに CTI ポートをオプションで追加できます (CTI アプリケーションがこれを決定します)。CTI ルート ポイントおよび CTI ポートを使用するアプリケーションには、Cisco SoftPhone、Cisco IP Auto Attendant、および Cisco IP Interactive Voice Response System があります。Cisco CallManager Administration に CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、CTI Route Point Configuration ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco CallManager の名前が利用可能であれば、表示されます。

これらのアプリケーションに関連した CTI ルート ポイントおよび CTI ポートの設定方法については、各アプリケーションに付属の資料とオンライン ヘルプを参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの追加

CTI ルート ポイントを追加する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。
- ステップ 2** **Add a New CTI Route Point** リンクをクリックします。
- ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 56-1 を参照)。
- ステップ 4** **Insert** をクリックして、新規 CTI ルート ポイントを追加します。

回線 1 の電話番号を追加するように求められたら、**OK** をクリックして、電話番号を追加します。または、**Cancel** をクリックして、電話番号を追加せずに処理を続行します。電話番号の追加と設定の方法については、P.62-52 の「電話番号の追加」を参照してください。

Cisco CallManager Administration に CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、CTI Route Point Configuration ウィンドウ内に表示されます。使用可能な場合、デバイスの IP アドレスと、デバイスが登録されている Cisco CallManager の名前が、図 56-1 に示すように表示されます。

図 56-1 CTI Route Point Configuration ウィンドウ



**関連項目**

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルートポイントの変更

CTI ルートポイントを変更する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find/List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 変更する CTI ルートポイントの検索に必要な検索条件を入力します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルートポイントが表示されます。

**ステップ 4** 設定値を変更する CTI ルートポイントの名前を選択します。

ウィンドウがリフレッシュされ、選択された CTI ルートポイントの現在の設定値が表示されます。

**ステップ 5** 該当する設定値を更新します (表 56-1 を参照)。

**ステップ 6** **Update** をクリックして、変更内容を適用します。

ウィンドウの内容が更新され、新しい設定値が表示されます。

---

### 関連項目

- [CTI ルートポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルートポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルートポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルートポイントの検索 \(P.56-7\)](#)

- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの削除

CTI ルート ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

1 つ以上の電話番号に割り当てられた CTI ルート ポイントを削除できるので、CTI Route Point Configuration ウィンドウから **Dependency Records** リンクをクリックして、CTI ルート ポイントを使用している電話番号を決定する必要があります。Dependency Records がシステムで使用可能でない場合、Dependency Records - Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、[P.A-4 の「Dependency Records へのアクセス」](#)を参照してください。使用されている CTI ルート ポイントを削除しようとすると、Cisco CallManager はメッセージを表示します。

割り当てられている電話番号をもつ CTI ルート ポイントを削除する場合、Route Plan Report を使用して電話番号を検索できます。Route Plan Report を使用して電話番号を削除することもできます。

### 手順

---

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find/List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 削除する CTI ルート ポイントの検索に必要な検索条件を指定します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

## ■ CTI ルート ポイントの削除

**ステップ 4** 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除する CTI ルート グループの横にあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックする。
- ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて削除する場合は、Matching records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックする。
- 削除する CTI ルート ポイントの名前を選択して、現在の設定値を表示し、**Delete** をクリックする。

**ステップ 5** **OK** をクリックすると、CTI ルート ポイントが完全に削除されます。

---

**関連項目**

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの検索

CTI ルート ポイントを検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find and List Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。すべての項目を表示するには、検索テキストを入力しないか、検索条件として「Device Name is not empty」を使用します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

**ステップ 4** 次の CTI ルート ポイントのリストを表示するには、**Next** をクリックします。



**(注)** Find and List Route Points ウィンドウから複数の CTI ルート ポイントを削除するには、適切な CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックします。複数の CTI ルート ポイントをリセットするには、適切な CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにして、**Reset Selected** をクリックします。Matching records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにすると、ウィンドウ内のすべての CTI ルート ポイントを選択できます。

**関連項目**

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」



## CTI ルート ポイントのリセット

CTI ルート ポイントをリセットする手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

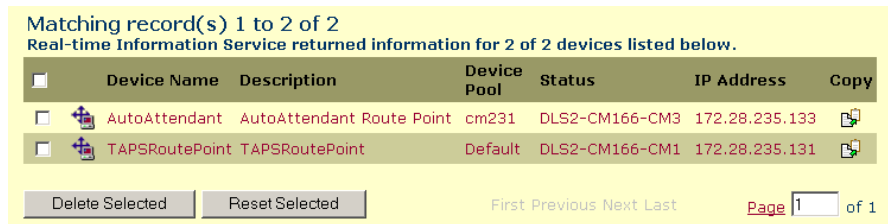
Find and List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。

**ステップ 3** **Find** をクリックします。

検索条件に一致する CTI ルート ポイントが、[図 56-2](#) に示すようにウィンドウに表示されます。

**図 56-2 Find and List CTI Route Points Configuration ウィンドウ**



Matching record(s) 1 to 2 of 2  
Real-time Information Service returned information for 2 of 2 devices listed below.

<input type="checkbox"/>	Device Name	Description	Device Pool	Status	IP Address	Copy
<input type="checkbox"/>	AutoAttendant	AutoAttendant Route Point	cm231	DLS2-CM166-CM3	172.28.235.133	
<input type="checkbox"/>	TAPSRoutePoint	TAPSRoutePoint	Default	DLS2-CM166-CM1	172.28.235.131	

Delete Selected    Reset Selected    First Previous Next Last    Page 1 of 1

**ステップ 4** リセットする CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて選択するには、Matching records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** **Reset Selected** をクリックします。

Reset Device ダイアログが表示されます。

**ステップ 6** 次のいずれかのボタンをクリックします。

- **Restart** : デバイスをシャットダウンしないで再起動する。
  - **Reset** : デバイスをシャットダウンしてから起動する。
  - **Close** : 何も実行しないで、Reset Device ダイアログを閉じる。
- 


#### 関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.56-11\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

## CTI ルート ポイントの設定値

表 56-1 では、CTI ルート ポイントの設定値について説明します。

表 56-1 CTI ルート ポイントの設定値

フィールド	説明
Device Name	このデバイスに固有の識別子を、1 ～ 15 文字（英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む）で入力します。
Description	CTI ルート ポイントの内容を表す名前を入力します。
Device Pool	デバイス プールの名前を選択します。デバイス プールは、自動登録用の CallManager Group、Date/Time Group、Region、および Calling Search Space を含む、このデバイスのプロパティの集合を指定します。
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、コーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、収集された（発信）番号のルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多の場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。<b>List items where Name contains</b> フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。<b>Select item to use</b> ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、<b>OK</b> をクリックします。</p> <p></p> <p><b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、<b>System &gt; Enterprise Parameters</b> の順に選択し、<b>CCMAdmin Parameters</b> を選択します。</p>

## ■ CTI ルート ポイントの設定値

表 56-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
Location	<p>このルート ポイントに適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、このルート ポイントが消費する帯域幅を把握しません。</p>
Media Resource Group List	<p>適切なメディア リソース グループ リストを選択します。メディア リソース グループ リストは、優先順位順に並べられたメディア リソース グループから構成されます。アプリケーションは、メディア リソース グループ リストで定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースの中から、必要なメディア リソース、たとえば、<b>Music On Hold</b> サーバを選択します。</p> <p>&lt;none&gt; を選択すると、Cisco CallManager は、デバイス プールに定義されているメディア リソース グループを使用します。</p> <p>詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「メディア リソースの管理」を参照してください。</p>
User Hold Audio Source	<p>アプリケーションが保留操作を開始するときに再生されるオーディオ ソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオ ソースを選択します。</p> <p>オーディオ ソースを選択しない場合、Cisco CallManager は、デバイス プールに定義されているオーディオ ソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオ ソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>オーディオ ソースの定義は、<b>Music On Hold Audio Source Configuration</b> ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、<b>Service &gt; Music On Hold</b> の順に選択してください。</p>

表 56-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
Network Hold Audio Source	<p>ネットワークが保留動作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco CallManager は、デバイスプールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイスプールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、Music On Hold Audio Source Configuration ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、<b>Service &gt; Music On Hold</b> の順に選択してください。</p>

#### 関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.56-1\)](#)
- [CTI ルート ポイントの追加 \(P.56-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの変更 \(P.56-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.56-5\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.56-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.56-9\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

■ CTI ルート ポイントの設定値